

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアプラン I	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	120時間	
授業回数	30回	
授業概要	日本における進路選択に資する基礎的な知識と技能を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	指導内容が日本における進路選択に役立てられる。日本の進路選択で必要となるビジネスマナーや各業界に関する知識を身に着けることができる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	日本における各業界への進路選択について 1
	3	日本における各業界への進路選択について 2
	4	日本における各業界への進路選択について 3
	5	日本における各業界への進路選択について 4
	6	日本における各業界への進路選択について 5
	7	日本における各業界への進路選択について 6
	8	日本における各業界への進路選択について 7
	9	日本における各業界への進路選択について 8
	10	日本における各業界への進路選択について 9
	11	問題演習とレポート 1
	12	問題演習とレポート 2
	13	問題演習とレポート 3
	14	問題演習とレポート 4
	15	問題演習とレポート 5
	16	実技演習 1
	17	実技演習 2
	18	実技演習 3
	19	実技演習 4
	20	実技演習 5
	21	実技演習 6
	22	実技演習 7
	23	実技演習 8
	24	実技演習 9
	25	実技演習 1 0
	26	修了レポートの作成と発表 1
	27	修了レポートの作成と発表 2
	28	修了レポートの作成と発表 3
	29	修了レポートの作成と発表 4
	30	修了レポートの作成と発表 5
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアプランⅡ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	120時間	
授業回数	30回	
授業概要	日本における進路選択に資する実践的な知識と技能を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	指導内容が日本における進路選択に役立てられる。日本の進路選択で必要となるビジネスマナーや各業界に関する知識を身に着けることができる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	各業界への進路選択と日本の現状について 1
	3	各業界への進路選択と日本の現状について 2
	4	各業界への進路選択と日本の現状について 3
	5	各業界への進路選択と日本の現状について 4
	6	各業界への進路選択と日本の現状について 5
	7	各業界への進路選択と日本の現状について 6
	8	各業界への進路選択と日本の現状について 7
	9	各業界への進路選択と日本の現状について 8
	10	各業界への進路選択と日本の現状について 9
	11	問題演習とレポート 1
	12	問題演習とレポート 2
	13	問題演習とレポート 3
	14	問題演習とレポート 4
	15	問題演習とレポート 5
	16	実技演習 1
	17	実技演習 2
	18	実技演習 3
	19	実技演習 4
	20	実技演習 5
	21	実技演習 6
	22	実技演習 7
	23	実技演習 8
	24	実技演習 9
	25	実技演習 10
	26	修了レポートの作成と発表 1
	27	修了レポートの作成と発表 2
	28	修了レポートの作成と発表 3
	29	修了レポートの作成と発表 4
	30	修了レポートの作成と発表 5
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文字・語彙初級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書が提出する文字・語彙を覚え適切に使用できる	
教科書	みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ 第2版 漢字練習帳（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	みんなの日本語初級Ⅰ 講義および復習テスト1・2
	2	みんなの日本語初級Ⅰ 講義および復習テスト3
	3	みんなの日本語初級Ⅰ 講義および復習テスト4
	4	みんなの日本語初級Ⅱ 講義および復習テスト1
	5	みんなの日本語初級Ⅱ 講義および復習テスト2
	6	みんなの日本語初級Ⅱ 講義および復習テスト3
	7	みんなの日本語初級Ⅱ 講義および復習テスト4
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	日本語総合初級
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1 年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	120時間
授業回数	30回
授業概要	初級～中級の総合的な日本語能力を培う
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習
達成目標	日常生活に困らない日本語力を身につける
教科書	みんなの日本語初級 I、II 第 2 版本冊（スリーエーネットワーク）
特記	
授業計画	1 第1課・第2課（練習A・B・C、問題）
	2 第3課・第4課（練習A・B・C、問題）
	3 第5課・第6課（練習A・B・C、問題）
	4 第7課・第8課（練習A・B・C、問題）
	5 第9課・第10課（練習A・B・C、問題）
	6 確認テスト
	7 第11課・第12課（練習A・B・C、問題）
	8 第13課・第14課（練習A・B・C、問題）
	9 第15課・第16課（練習A・B・C、問題）
	10 第17課・第18課（練習A・B・C、問題）
	11 第19課・第20課（練習A・B・C、問題）
	12 確認テスト
	13 第21課・第22課（練習A・B・C、問題）
	14 第23課・第24課（練習A・B・C、問題）
	15 第25課・第26課（練習A・B・C、問題）
	16 第27課・第28課（練習A・B・C、問題）
	17 第29課・第30課（練習A・B・C、問題）
	18 確認テスト
	19 第31課・第32課（練習A・B・C、問題）
	20 第33課・第34課（練習A・B・C、問題）
	21 第35課・第36課（練習A・B・C、問題）
	22 第37課・第38課（練習A・B・C、問題）
	23 第39課・第40課（練習A・B・C、問題）
	24 確認テスト
	25 第41課・第42課（練習A・B・C、問題）
	26 第43課・第44課（練習A・B・C、問題）
	27 第45課・第46課（練習A・B・C、問題）
	28 第47課・第48課（練習A・B・C、問題）
	29 第49課・第50課（練習A・B・C、問題）
	30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	聴解初級
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1 年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	30時間
授業回数	8回
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習
達成目標	日本語教育参照枠A2程度の聴解問題や日常生活の会話が聞き取れる
教科書	みんなの日本語初級Ⅱ第2版 聴解タスク25（スリーエーネットワーク）／ドリル&ドリル日本語能力試験N4（UNIKOM）
特記	
授業計画	1 第26課～第28課／ドリル&ドリルN4 第1回 課題理解
	2 第29課～第31課／ドリル&ドリルN4 第1回 ポイント理解
	3 第32課～第34課／ドリル&ドリルN4 第1回 発話表現
	4 第35課～第37課／ドリル&ドリルN4 第1回 即時応答
	5 第38課～第40課／ドリル&ドリルN4 第2回 課題理解課
	6 第41課～第43課／ドリル&ドリルN4 第2回 ポイント理解
	7 第44課～第46課／ドリル&ドリルN4 第2回 発話表現
	8 第47課～第50課／ドリル&ドリルN4 第2回 即時応答
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解初級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	60時間	
授業回数	15回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	日本語教育の参照枠A2程度の読解問題や簡単な文章が読めるようになる	
教科書	みんなの日本語初級Ⅱ第2版 初級で読めるトピック25（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第26課・第27課（本文、プラスアルファ）
	2	第28課・第29課（本文、プラスアルファ）
	3	第30課・第31課（本文、プラスアルファ）
	4	第32課・第33課（本文、プラスアルファ）
	5	第34課・第35課（本文、プラスアルファ）
	6	第36課・第37課（本文、プラスアルファ）
	7	第38課・第39課（本文、プラスアルファ）
	8	第40課・第41課（本文、プラスアルファ）
	9	第42課・第43課（本文、プラスアルファ）
	10	第44課・第45課（本文、プラスアルファ）
	11	第46課・第47課（本文、プラスアルファ）
	12	第48課・第49課（本文、プラスアルファ）
	13	第50課
	14	復習
	15	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話初級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストを用いた講義および実技演習	
達成目標	日常生活での情報交換等が会話を通してスムーズに行える	
教科書	みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ 第2 版本冊（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	みんなの日本語初級Ⅰ 会話 1～7
	2	みんなの日本語初級Ⅰ 会話8～16
	3	みんなの日本語初級Ⅰ 会話17～21
	4	みんなの日本語初級Ⅰ 会話22～25
	5	みんなの日本語初級Ⅱ 会話1～7
	6	みんなの日本語初級Ⅱ 会話8～16
	7	みんなの日本語初級Ⅱ 会話17～21
	8	みんなの日本語初級Ⅱ 会話22～25
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	記述初級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた短作文～作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	定められた時間内に原稿用紙1枚以上の作文が書ける	
教科書	みんなの日本語初級第2版やさしい作文（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	ユニット1 自己紹介
	2	ユニット2 わたしの部屋
	3	ユニット3 わたしの国・町
	4	ユニット4 わたしの家族
	5	ユニット5 週末
	6	ユニット6 はがき
	7	ユニット7 プレゼント
	8	ユニット8 旅行
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文法初級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文型・表現を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	既習の文法を日常生活での意思疎通に役立てられる	
教科書	みんなの日本語初級 I、II 第 2 版本冊（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	復習A、復習B（問題演習および解説）
	2	復習C、復習D（問題演習および解説）
	3	復習E、復習F（問題演習および解説）
	4	復習G、復習H（問題演習および解説）
	5	復習I、復習J（問題演習および解説）
	6	復習K、復習L（問題演習および解説）
	7	まとめ I、II（問題演習および解説）
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本文化・事情初級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	日本文化に触れ、日本事情がある程度理解できる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	講義 2
	4	講義 3
	5	講義 4
	6	レポート作成 1
	7	レポート作成 2
	8	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	日本語能力試験対策初級
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	30時間
授業回数	8回
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	日本語教育参照枠A2レベルの試験に合格できる日本語力を身につける
教科書	日本語能力試験完全模試N5（Jリサーチ出版）／日本語能力試験公式問題集第二集（凡人社）
特記	
授業計画	1 第1回 日本語能力試験完全模試N5（文字語彙・文法）
	2 第1回 日本語能力試験完全模試N5（読解・聴解）
	3 第2回 日本語能力試験完全模試N5（文字語彙・文法）
	4 第2回 日本語能力試験完全模試N5（読解・聴解）
	5 第3回 日本語能力試験完全模試N5（文字語彙・文法）
	6 第3回 日本語能力試験完全模試N5（読解・聴解）
	7 日本語能力試験公式問題集第二集（文字語彙・文法）
	8 日本語能力試験公式問題集第二集（読解・聴解）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文字・語彙中級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書が提出する文字・語彙が適切に使用できる	
教科書	中級を学ぼう中級前期第2版（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第1課、第2課（ことばを確かめよう、漢字練習）
	2	確認テスト1
	3	第3課、第4課（ことばを確かめよう、漢字練習）
	4	確認テスト2
	5	第5課、第6課（ことばを確かめよう、漢字練習）
	6	確認テスト3
	7	第7課、第8課（ことばを確かめよう、漢字練習）
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	日本語総合中級
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1 年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	120時間
授業回数	30回
授業概要	中級～上級の総合的な日本語能力を培う
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習
達成目標	日本語教育参照枠のB2程度の日本語力を身につける
教科書	中級を学ぶ中級前期第2版（スリーエーネットワーク）／テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版（研究社）
特記	
授業計画	1 第1課 音楽と音の効果
	2 第2課 いい数字・悪い数字
	3 第3課 「面白い」日本
	4 第4課 くしゃみ
	5 第5課 私の町
	6 第6課 この日に食べなきゃ、意味がない！
	7 第7課 お相撲さんの世界
	8 第8課 第一印象
	9 確認テスト1
	10 第1課 まなぶ
	11 第2課 みつける
	12 第3課 たべる
	13 第4課 たとえる
	14 第5課 あきれる
	15 第6課 つたえる
	16 第7課 かざる
	17 第8課 おもいこむ
	18 第9課 まもる
	19 第10課 なれる
	20 第11課 つながる
	21 第12課 わける
	22 第13課 おもいだす
	23 第14課 みなおす
	24 第15課 ふれあう
	25 第16課 うたう
	26 第17課 なおす
	27 第18課 はなれる
	28 第19課 かなえる
	29 第20課 おぼえる
	30 確認テスト2
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	聴解中級
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1 年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	30時間
授業回数	8回
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	日本語教育参照枠B2程度の聴解問題や職場での会話が聞き取れる
教科書	テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック（研究社）／新毎日の聞きとり50日【上】（凡人社）
特記	
授業計画	1 第1課まなぶ（聞きましょうA・B）／1 もしもし
	2 第2課みつける（聞きましょうA・B）／2 旗のデザイン
	3 第3課たべる（聞きましょうA・B）／3 海からの便り
	4 確認テスト1
	5 第4課たとえる（聞きましょうA・B）／4 カラスの子カー子ちゃん
	6 第5課あきれる（聞きましょうA・B）／5 たためるピアノ
	7 第6課つたえる（聞きましょうA・B）／6 日本人と果物
	8 確認テスト2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	読解中級
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1 年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	60時間
授業回数	15回
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習
達成目標	日本語教育参照枠B2程度の読解問題や新聞記事などがある程度のスピードで理解できる
教科書	テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック（研究社）
特記	
授業計画	1 第1課 まなぶ（読んでみましょう「どっちが大切」）
	2 第2課 みつける（読んでみましょう「空がおみやげ」）
	3 第3課 たべる（読んでみましょう「ご飯ですよ」）
	4 第4課 たとえる（読んでみましょう「テーブルに足がある」）
	5 確認テスト1
	6 第5課 あきれる（読んでみましょう「子供とお酒」）
	7 第6課 つたえる（読んでみましょう「食べられませんでした」）
	8 第7課 かざる（読んでみましょう「何も言わないかみの毛だけど」）
	9 第8課 おもいこむ（読んでみましょう「水に気をつけて」）
	10 確認テスト2
	11 第9課 まもる（読んでみましょう「いじめも情報時代」）
	12 第10課 なれる（読んでみましょう「追うか追われるか」）
	13 第11課 つながる（読んでみましょう「まだ残っています」）
	14 第12課 わける（読んでみましょう「強くはないからです」）
	15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話中級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストを用いた講義および実技演習	
達成目標	具体的な話題でも抽象的な話題でも流暢に会話ができる	
教科書	東京大学教養学部のアカデミック・ジャパニーズJ-PEAK中級（the japan times）	
特記		
授業計画	1	Unit 1 食べ物・飲み物の歴史（発表する）
	2	Unit 2 田舎に住むか、都会に住むか（ディベートをする）
	3	Unit 3 大学生活の過ごし方（発表する）
	4	Unit 4 日本各地の魅力（ディスカッションをする）
	5	Unit 5 新しい技術の影響（ディベートをする）
	6	Unit 6 「やる気」について（発表する）
	7	Unit 7 図書館の将来（ディスカッションをする）
	8	Unit 8 生き物を守ろう（発表する）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	記述中級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	正しい文法を使用しつつ明確な文章が書ける	
教科書	東京大学教養学部のアカデミック・ジャパニーズJ-PEAK中級 (the japan times)	
特記		
授業計画	1	Unit 1 食べ物・飲み物の歴史（説明分を書く）
	2	Unit 2 田舎に住むか、都会に住むか（意見文を書く）
	3	Unit 3 大学生活の過ごし方（説明文を書く）
	4	Unit 4 日本各地の魅力（記事を書く）
	5	Unit 5 新しい技術の影響（意見文を書く）
	6	Unit 6 「やる気」について（説明文を書く）
	7	Unit 7 図書館の将来（提案文を書く）
	8	Unit 8 生き物を守ろう（説明文を書く）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文法中級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文型・表現を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	既習の文法を日常生活での意思疎通に役立てることができる	
教科書	TRY！日本語能力試験N3文法から伸ばす日本語（アスク出版）	
特記		
授業計画	1	1 初めての富士登山(1)(2)～まとめ問題
	2	2 ぼくの犬、クロ(1)(2)～まとめ問題
	3	3 市民農園の募集(1)(2)～まとめ問題
	4	確認テスト1
	5	4 水泳大会(1)(2)～まとめ問題
	6	5 手作りハムのレシピ(1)(2)～まとめ問題
	7	6 里山について(1)(2)～まとめ問題
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本文化・事情中級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	日本文化に触れ、日本事情がより深く理解できる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	講義 2
	4	講義 3
	5	講義 4
	6	レポート作成 1
	7	レポート作成 2
	8	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験対策中級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠B2レベルの試験に合格できる日本語力を身につける	
教科書	JLPT日本語能力試験完全模試N3（Jリサーチ出版）／JLPT日本語能力試験完全模試N2（Jリサーチ出版）	
特記		
授業計画	1	第 1 回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	2	第 1 回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	3	第 2 回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	4	第 2 回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	5	第 3 回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	6	第 3 回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	7	第 1 回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（文字語彙・文法）
	8	第 1 回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（読解・聴解）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文字・語彙上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書が提出する文字・語彙が使用場面による違いも含めて理解できる	
教科書	テーマ別 上級で学ぶ日本語三訂版（研究社）	
特記		
授業計画	1	第 1 課、2 課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	2	第 3 課、第 4 課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	3	第 5 課、第 6 課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	4	第 7 課、第 8 課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	5	第 9 課、第 1 0 課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	6	第 1 1 課、第 1 2 課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	7	第 1 3 課、第 1 4 課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語総合上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	120時間	
授業回数	30回	
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う	
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習	
達成目標	日本語教育参照枠のC1程度の日本語力を身につける	
教科書	中級を学ぼう 中級中期（スリーエーネットワーク）／テーマ別 上級で学ぶ日本語（研究社）	
特記		
授業計画	1	1 課 色
	2	2 課 ユーモア・ジョーク
	3	3 課 制服
	4	4 課 算数
	5	5 課 遊びと運動
	6	6 課 お金
	7	7 課 水
	8	8 課 遺伝
	9	9 課 漫画・アニメ・本
	10	1 0 課 ヒトと動物
	11	復習
	12	確認テスト
	13	第 1 課 しる
	14	第 2 課 いたわる
	15	第 3 課 ならう
	16	第 4 課 よみとる
	17	第 5 課 さばく
	18	第 6 課 うやまう
	19	第 7 課 ふせぐ
	20	第 8 課 もてなす
	21	第 9 課 よびかける
	22	第 1 0 課 えらぶ
	23	第 1 1 課 いかす
	24	第 1 2 課 つなぐ
	25	第 1 3 課 たのしむ
	26	第 1 4 課 きたえる
	27	第 1 5 課 いきる
	28	復習
	29	復習
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	聴解上級			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1 年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義および演習			
授業時間	30時間			
授業回数	8回			
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習			
達成目標	日本語教育参照枠C1程度の聴解問題や専門的な話題の会話が聞き取れる			
教科書	適宜指定する			
特記				
授業計画	1	ニュースの日本語聴解50	経済・金融①	政治・行政① 社会・生活①
	2	ニュースの日本語聴解50	経済・金融②	政治・行政② 社会・生活②
	3	ニュースの日本語聴解50	経済・金融③	政治・行政③ 社会・生活③
	4	ニュースの日本語聴解50	経済・金融④	政治・行政④ 社会・生活④
	5	ニュースの日本語聴解50	経済・金融⑤	政治・行政⑤ 社会・生活⑤
	6	ニュースの日本語聴解50	経済・金融⑥	政治・行政⑥ 社会・生活⑥
	7	ニュースの日本語聴解50	経済・金融⑦	政治・行政⑦ 社会・生活⑦
	8	ニュースの日本語聴解50	経済・金融⑧	政治・行政⑧ 社会・生活⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	60時間	
授業回数	15回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1程度の読解問題や論文などが程度のスピードで理解できる	
教科書	中上級者向け日本語教材 日本文化を読む（アルク）	
特記		
授業計画	1	1 「中身当てクイズ」 佐藤雅彦
	2	2 「お母さん みんなで食卓を囲む幸せ」 よしもとばなな
	3	3 「やっぱり敬語が必要なわけ」 橋本治
	4	4 「シンプル」 山本昌代
	5	5 「ブブツケ」 梅棹忠夫
	6	6 「脳のはたらきを目で見てみよう」 川島隆太
	7	7 「大根を半分」 沢木耕太郎
	8	8 「隣人訴訟事件」 後藤昭
	9	9 「わざわざ書く」 宮沢章夫
	10	10 「東京スカイツリーの秘密」 瀧井宏臣
	11	11 「天井裏」 村上春樹
	12	12 「吟味された言葉」 大江健三郎
	13	13 「新社会人劇場」 倉本聰
	14	14 「三十秒と三分」 阿刀田高
	15	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習	
達成目標	専門的な話題に対して議論しあえる	
教科書	日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第1課 自己紹介で好印象をあたえよう
	2	第2課 きっかけを語ろう
	3	第3課 なくした体験を話そう
	4	第4課 町の様子を話そう
	5	第5課 動きの順序を説明しよう
	6	第6課 スポーツのおもしろさを伝えよう
	7	第7課 言いかえて説明しよう
	8	第8課 比べて良さを伝えよう
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	記述上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	複雑な話題について適切な構成で記述が行えるようになる	
教科書	大学で学ぶための日本語ライティング（ジャパンタイムス）	
特記		
授業計画	1	第1課 簡潔に回答する
	2	第2課 情報を文章にする
	3	第3課 状況を説明し、意見を述べる
	4	第4課 段落を作る
	5	第5課 体験したことを報告する文を書く
	6	第6課 テーマに沿った意見文を書く
	7	第7課 自分をアピールする文を書く
	8	レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文法上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文型・表現を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	既習の文法を専門的な話題の記述や読解、会話に役立てられる	
教科書	テーマ別 上級で学ぶ日本語 ワークブック（研究社）	
特記		
授業計画	1	第 1 課・第 2 課（文法練習および解説）
	2	第 3 課・第 4 課（文法練習および解説）
	3	第 5 課・第 6 課（文法練習および解説）
	4	第 7 課・第 8 課（文法練習および解説）
	5	第 9 課・第 1 0 課（文法練習および解説）
	6	第 1 1 課・第 1 2 課（文法練習および解説）
	7	第 1 3 課・第 1 4 課（文法練習および解説）
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本文化・事情上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	学んだ日本文化事情についてのプレゼンテーションができる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	講義 2
	4	講義 3
	5	講義 4
	6	レポート作成 1
	7	レポート作成 2
	8	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験対策上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1レベルの試験に合格できる日本語力を身につける	
教科書	日本語能力試験N 2・N 1 模擬テスト 千駄ヶ谷日本語能力研究所著（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	日本語能力試験N 2 模擬テスト＜1＞ 演習
	2	日本語能力試験N 2 模擬テスト＜1＞ 解説
	3	日本語能力試験N 2 模擬テスト＜2＞ 演習
	4	日本語能力試験N 2 模擬テスト＜2＞ 解説
	5	日本語能力試験N 1 模擬テスト＜1＞ 演習
	6	日本語能力試験N 1 模擬テスト＜1＞ 解説
	7	日本語能力試験N 1 模擬テスト＜2＞ 演習
	8	日本語能力試験N 1 模擬テスト＜2＞ 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	文字・語彙上級
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	2 年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	30時間
授業回数	8回
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習
達成目標	教科書が提出する文字・語彙が使用場面による違いも含めて理解できる
教科書	テーマ別 上級で学ぶ日本語三訂版（研究社）
特記	
授業計画	1 第1課、2課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	2 第3課、第4課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	3 第5課、第6課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	4 第7課、第8課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	5 第9課、第10課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	6 第11課、第12課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	7 第13課、第14課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	8 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語総合上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	120時間	
授業回数	30回	
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う	
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習	
達成目標	日本語教育参照枠のC1程度の日本語力を身につける	
教科書	中級を学ぼう 中級中期（スリーエーネットワーク）／テーマ別 上級で学ぶ日本語（研究社）	
特記		
授業計画	1	1 課 色
	2	2 課 ユーモア・ジョーク
	3	3 課 制服
	4	4 課 算数
	5	5 課 遊びと運動
	6	6 課 お金
	7	7 課 水
	8	8 課 遺伝
	9	9 課 漫画・アニメ・本
	10	10 課 ヒトと動物
	11	復習
	12	確認テスト
	13	第1 課 しる
	14	第2 課 いたわる
	15	第3 課 ならう
	16	第4 課 よみとる
	17	第5 課 さばく
	18	第6 課 うやまう
	19	第7 課 ふせぐ
	20	第8 課 もてなす
	21	第9 課 よびかける
	22	第10 課 えらぶ
	23	第11 課 いかす
	24	第12 課 つなぐ
	25	第13 課 たのしむ
	26	第14 課 きたえる
	27	第15 課 いきる
	28	復習
	29	復習
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	聴解上級			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義および演習			
授業時間	30時間			
授業回数	8回			
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習			
達成目標	日本語教育参照枠C1程度の聴解問題や専門的な話題の会話が聞き取れる			
教科書	適宜指定する			
特記				
授業計画	1	ニュースの日本語聴解50	経済・金融①	政治・行政① 社会・生活①
	2	ニュースの日本語聴解50	経済・金融②	政治・行政② 社会・生活②
	3	ニュースの日本語聴解50	経済・金融③	政治・行政③ 社会・生活③
	4	ニュースの日本語聴解50	経済・金融④	政治・行政④ 社会・生活④
	5	ニュースの日本語聴解50	経済・金融⑤	政治・行政⑤ 社会・生活⑤
	6	ニュースの日本語聴解50	経済・金融⑥	政治・行政⑥ 社会・生活⑥
	7	ニュースの日本語聴解50	経済・金融⑦	政治・行政⑦ 社会・生活⑦
	8	ニュースの日本語聴解50	経済・金融⑧	政治・行政⑧ 社会・生活⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	60時間	
授業回数	15回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1程度の読解問題や論文などが程度のスピードで理解できる	
教科書	中上級者向け日本語教材 日本文化を読む（アルク）	
特記		
授業計画	1	1 「中身当てクイズ」 佐藤雅彦
	2	2 「お母さん みんなで食卓を囲む幸せ」 よしもとばなな
	3	3 「やっぱり敬語が必要なわけ」 橋本治
	4	4 「シンプル」 山本昌代
	5	5 「ブブツケ」 梅棹忠夫
	6	6 「脳のはたらきを目で見てみよう」 川島隆太
	7	7 「大根を半分」 沢木耕太郎
	8	8 「隣人訴訟事件」 後藤昭
	9	9 「わざわざ書く」 宮沢章夫
	10	10 「東京スカイツリーの秘密」 瀧井宏臣
	11	11 「天井裏」 村上春樹
	12	12 「吟味された言葉」 大江健三郎
	13	13 「新社会人劇場」 倉本聰
	14	14 「三十秒と三分」 阿刀田高
	15	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習	
達成目標	専門的な話題に対して議論しあえる	
教科書	日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第1課 自己紹介で好印象をあたえよう
	2	第2課 きっかけを語ろう
	3	第3課 なくした体験を話そう
	4	第4課 町の様子を話そう
	5	第5課 動きの順序を説明しよう
	6	第6課 スポーツのおもしろさを伝えよう
	7	第7課 言いかえて説明しよう
	8	第8課 比べて良さを伝えよう
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	記述上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	複雑な話題について適切な構成で記述が行えるようになる	
教科書	大学で学ぶための日本語ライティング（ジャパンタイムス）	
特記		
授業計画	1	第 1 課 簡潔に回答する
	2	第 2 課 情報を文章にする
	3	第 3 課 状況を説明し、意見を述べる
	4	第 4 課 段落を作る
	5	第 5 課 体験したことを報告する文を書く
	6	第 6 課 テーマに沿った意見文を書く
	7	第 7 課 自分をアピールする文を書く
	8	レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文法上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文型・表現を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	既習の文法を専門的な話題の記述や読解、会話に役立てられる	
教科書	テーマ別 上級で学ぶ日本語 ワークブック（研究社）	
特記		
授業計画	1	第 1 課・第 2 課（文法練習および解説）
	2	第 3 課・第 4 課（文法練習および解説）
	3	第 5 課・第 6 課（文法練習および解説）
	4	第 7 課・第 8 課（文法練習および解説）
	5	第 9 課・第 1 0 課（文法練習および解説）
	6	第 1 1 課・第 1 2 課（文法練習および解説）
	7	第 1 3 課・第 1 4 課（文法練習および解説）
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本文化・事情上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	学んだ日本文化事情についてのプレゼンテーションができる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	講義 2
	4	講義 3
	5	講義 4
	6	レポート作成 1
	7	レポート作成 2
	8	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験対策上級	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1レベルの試験に合格できる日本語力を身につける	
教科書	日本語能力試験N2・N1模擬テスト 千駄ヶ谷日本語能力研究所著（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	日本語能力試験N2模擬テスト＜1＞ 演習
	2	日本語能力試験N2模擬テスト＜1＞ 解説
	3	日本語能力試験N2模擬テスト＜2＞ 演習
	4	日本語能力試験N2模擬テスト＜2＞ 解説
	5	日本語能力試験N1模擬テスト＜1＞ 演習
	6	日本語能力試験N1模擬テスト＜1＞ 解説
	7	日本語能力試験N1模擬テスト＜2＞ 演習
	8	日本語能力試験N1模擬テスト＜2＞ 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文字・語彙応用	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書の提供する難易度の文字・語彙が使用できる	
教科書	日本語能力試験直前対策N1文字・語彙・文法	
特記		
授業計画	1	第1回 文字語彙問題演習および解説
	2	第2回 文字語彙問題演習および解説
	3	第3回 文字語彙問題演習および解説
	4	第4回 文字語彙問題演習および解説
	5	第5回 文字語彙問題演習および解説
	6	第6回 文字語彙問題演習および解説
	7	第7回 文字語彙問題演習および解説
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語総合応用	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	120時間	
授業回数	30回	
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う	
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習	
達成目標	日本語教育参照枠のC2程度の日本語力を身につける	
教科書	留学生のための時代を読み解く上級日本語第3版（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	1. 遠距離結婚
	2	2. 「輝く女性」とは何なのか
	3	3. 父親の育児参加
	4	4. 社内結婚、企業が後押し
	5	5. 働き方
	6	確認テスト
	7	6. なぜ少子化が社会問題なのか
	8	7. 「買い物弱者」
	9	8. 離れて暮らす親の見守り
	10	9. ノーマライゼーションの地域をつくる
	11	10. 高齢社会は怖くない
	12	確認テスト
	13	11. 学歴とは別のものさしで
	14	12. メディア機器・IT機器の影響
	15	13. 「主権者教育」
	16	確認テスト
	17	14. 日本型雇用システム（1）
	18	15. 日本型雇用システム（2）
	19	16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ
	20	17. どうする？長時間労働
	21	18. なぜコミュニケーション能力か
	22	確認テスト
	23	19. インターネットの隆盛
	24	20. ロボットの活用
	25	21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか
	26	22. 「ビッグデータ社会」
	27	23. 本当に「原発は安い」のか
	28	24. タバコのもたらすもの
	29	26. 人間のおごり
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	聴解応用	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C2程度の聴解問題や専門的な話題の会話が聞き取れる	
教科書	留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解上級	
特記		
授業計画	1	第1課 応用問題演習
	2	第2課 応用問題演習及び要約
	3	第3課 応用問題演習及び要約
	4	第4課 応用問題演習及び要約
	5	第5課 応用問題演習及び要約
	6	第6課 応用問題演習
	7	第7課 応用問題演習及び要約
	8	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解応用	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	60時間	
授業回数	15回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C2程度の読解問題や論文などのある程度のスピードで読み、把握できる	
教科書	上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む（アルク）	
特記		
授業計画	1	1. 途中下車
	2	2. 愛情としつけ
	3	3. 贈るかたちと意味
	4	4. 鞆
	5	5. 平成おとぎ話
	6	6. 「主人」から「夫」へ
	7	7. 安楽死ということば
	8	8. わすれ傘
	9	9. リーダーシップ論
	10	10. 魚の骨
	11	11. 痛いといわなければ、痛くない
	12	12. 国字作成のメカニズム
	13	13. 足の表現力
	14	14. ソムリエの妻
	15	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話応用	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習	
達成目標	正確な自己表現や複雑な会話状況における細かい意味の違いの理解ができるようになる	
教科書	日本語超級話者へのかけはし（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第1課 実技演習（短く的確に伝える）
	2	第2課 実技演習（インフォーマルな話し方を身に着ける）
	3	第3課 ロールプレイ（心情を表す表現を使う）
	4	第4課 ロールプレイ（相手に同調して話を聞く）
	5	第5課 実技演習（待遇表現を使う）
	6	第6課 実技演習（グラフを用いて説明する）
	7	第7課 ディベート演習（異なる視点から意見を述べる）
	8	第8課 実技演習（構成を考えて説明する）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	記述応用	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	話し言葉や書き言葉から得た情報を一貫した方法で再構成し、記述ができるようになる	
教科書	留学生のための時代を読み解く上級日本語第3版（スリーエーネットワーク）	
特記	課を選択して感想や意見を書く	
授業計画	1	課を選択して感想や意見を書く 1～3
	2	課を選択して感想や意見を書く 4～5
	3	課を選択して感想や意見を書く 6～10
	4	課を選択して感想や意見を書く 11～13
	5	課を選択して感想や意見を書く 14～16
	6	課を選択して感想や意見を書く 17～18
	7	課を選択して感想や意見を書く 19～23
	8	課を選択して感想や意見を書く 24～26
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文法応用	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	教科書に出てくる文型・表現を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	既習の文法を使用し、専門的な話題の記述や読解、会話に役立てる	
教科書	日本語能力試験直前対策N1文字・語彙・文法	
特記		
授業計画	1	第8回 文法演習および解説
	2	第9回 文法演習および解説
	3	第10回 文法演習および解説
	4	第11回 文法演習および解説
	5	第12回 文法演習および解説
	6	第13回 文法演習および解説
	7	第14回 文法演習および解説
	8	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本文化・事情応用	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	日本文化事情について解釈したことをプレゼンテーションする	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	講義 2
	4	講義 3
	5	講義 4
	6	レポート作成 1
	7	レポート作成 2
	8	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	日本語能力試験対策応用		
実務家教員			
学部・学科	日本語学科		
履修年次	2年次		
開講区分	通年		
科目区分	選択		
授業方法	講義および演習		
授業時間	30時間		
授業回数	8回		
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習		
達成目標	日本語教育参照枠C2レベルの試験に合格する		
教科書	あなたの弱点がわかる日本語能力試験N1模試（UNICOM）／U-CANの日本語能力試験N1予想問題集		
特記			
授業計画	1	第1回N1模試 文字語彙・文法	あなたの弱点がわかる日本語能力試験N1模試（UNICOM）
	2	第1回N1模試 読解・聴解	あなたの弱点がわかる日本語能力試験N1模試（UNICOM）
	3	第2回N1模試 文字語彙・文法	あなたの弱点がわかる日本語能力試験N1模試（UNICOM）
	4	第2回N1模試 読解・聴解	あなたの弱点がわかる日本語能力試験N1模試（UNICOM）
	5	第1回予想模擬試験 文字語彙・文法	U-CANの日本語能力試験N1予想問題集
	6	第1回予想模擬試験 読解・聴解	U-CANの日本語能力試験N1予想問題集
	7	第2回予想模擬試験 文字語彙・文法	U-CANの日本語能力試験N1予想問題集
	8	第2回予想模擬試験 読解・聴解	U-CANの日本語能力試験N1予想問題集
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験直前対策	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	目標とするレベルの試験に合格する	
教科書	初めての日本語能力試験合格模試（アスク出版）	
特記	目標とするレベルの模試を使用する	
授業計画	1	第 1 回（文字語彙・文法）
	2	第 1 回（読解・聴解）
	3	第 2 回（文字語彙・文法）
	4	第 2 回（読解・聴解）
	5	解説・復習 1
	6	第 3 回（文字語彙・文法）
	7	第 3 回（読解・聴解）
	8	解説・復習 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験直前対策	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	目標とするレベルの試験に合格する	
教科書	日本語能力試験ベスト模試（the japan times）	
特記	目標とするレベルの模試を使用する	
授業計画	1	第 1 回（文字語彙・文法）
	2	第 1 回（読解・聴解）
	3	第 2 回（文字語彙・文法）
	4	第 2 回（読解・聴解）
	5	解説・復習 1
	6	第 3 回（文字語彙・文法）
	7	第 3 回（読解・聴解）
	8	解説・復習 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本留学試験対策	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本留学生試験の演習と解説	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	日本留学試験の各科目において目標とする点数を取得する	
教科書	2022年度日本留学試験試験問題〔第1回〕〔第2回〕（凡人社）	
特記		
授業計画	1	〔第1回〕日本語（記述）
	2	〔第1回〕日本語（読解）
	3	〔第1回〕日本語（聴読解）
	4	〔第1回〕日本語（聴解）
	5	〔第2回〕日本語（記述）
	6	〔第2回〕日本語（読解）
	7	〔第2回〕日本語（聴読解）
	8	〔第2回〕日本語（聴解）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本留学試験対策	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本留学生試験の演習と解説	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	日本留学試験の各科目において目標とする点数を取得する	
教科書	2023年度日本留学試験試験問題〔第1回〕〔第2回〕（凡人社）	
特記		
授業計画	1	〔第1回〕日本語（記述）
	2	〔第1回〕日本語（読解）
	3	〔第1回〕日本語（聴読解）
	4	〔第1回〕日本語（聴解）
	5	〔第2回〕日本語（記述）
	6	〔第2回〕日本語（読解）
	7	〔第2回〕日本語（聴読解）
	8	〔第2回〕日本語（聴解）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		